

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No.52

2010.7.30発行

一般会計補正予算を可決

2

委員会ハイライト

3 ▶ 4

交流活動紹介・防災シリーズ — 5

8 議員が一般質問

6 ▶ 13

スポーツクラブ紹介 — 14

季節の花シリーズ ～よこせ花々の里～

1億1,946万円を可決 予算総額 32億2,946万円に

補正予算の主なもの

- 沼江バイパス関連工事(専決) 2,000万円
- 汚水処理構想策定費 417万円
- 簡易水道会計繰出 650万円
- 道の駅関連工事など 1,356万円
- 中角通学路改良関連排水工事 5,790万円
- 棚野・立川線道路改良工事 939万円

6月
定例会

中角通学路改良 関連排水工事に五、七九〇万円



中角通学路改良のため用水路を改修

六月定例会は八日から十七日の十日間開かれ、沼江バイパス関連工事の専決処分（二、〇〇〇万円の補正）、二十二年度一般会計補正予算（九、九四六万円）等について審議し、全員一致で可決しました。また、一般質問では八人の議員が登壇し町の考えを問いました。

議案に対する主な質疑

問

六月定例会は当初予算が決まってから三月月しか経過していないのに、約一億円の補正が提案された。突発的、緊急性があったのか。

答

国の補助金が増額になり、補助対象が拡大された事業や県の交付金の配分額が決定したことに伴い、補正で対応した。

問

職員の育児休業等に関する条例が改正されたが、この制度を名実ともに生かす職場の体制づくりは十分か。

答

子育てしやすい職場環境づくりの整備に努めていきたい。

総務産建常任委員会

六月二日に委員会を開き、条例改正や補正予算、「道の駅」の管理運営、土地開発公社の解散などを審議しました。

だいじょうぶか「情報館」 町で管理運営？

「道の駅」情報館の管理運営計画が示された。当面の間（二〜三年）は駅事務所、町分室を置き、町の直営で管理運営を行う。職員体制としては、都会から「地域おこし協力隊」二名を公募で採用し、常時一名で運営にあたる。詳細は今後、運営協議会を立ち上げ検討すると説明があった。

委員からは、初めての施設、経験のない事業を兼務体制、町外からの人材で「だいじょうぶか」、心配はないのかなど多くの意見が出ました。



委員会で交通量調査を（ローソン前）

町内でラッシュ時の 交通量調査を

今、町内でかなり通行車両が増えており、朝夕のラッシュ時には道の横断もなかなかできない状況にもあるが、その実態はつかめていない。
今後、交通安全と「道の駅」の整備などもあり、委員会で交通量調査を実施することを決めました。

今年十二月で解散 「勝浦町土地開発公社」

土地開発公社は公共用地や公用地などの取得、管理、処分等を行う目的で昭和四十七年に設立されたが、現在、土地の償還も完了し、公共用地等の取得業務等も行っていないため、理事会で二十二年十二月に解散するとの説明があり、同意しました。

文教厚生常任委員会

六月三日に委員会を開き、勝浦病院の平成二十一年度の決算状況や一般会計補正予算などの説明を受け、審議しました。

勝浦病院

決算は黒字

勝浦病院の平成二十一年度の決算は、亜急性期の入院管理料の改善や入院患者数増などにより、三千六百万円余りの黒字となった。

問 入院収益が前年度比二十%伸びている。主要要因は。

答 日赤病院などからの紹介による入院患者が増えたため。



お疲れさん！22年間給食を配送

給食配送車は 八月納車

問 給食配送車の納車が遅れているが、いつになるのか。

答 車検が夏休みに受けられるよう時期を考慮したので、八月中の納車になる。

東部広域農道 整備促進特別委員会

二十二年予算は半減

五月三十一日に委員会を開き、二十一年度の事業報告と二十二年度の事業計画について説明があった。

審議をした後、現地を視察しました。

二十一年度は一億五百万円の予算で、路床工九十mと舗装工事六百二十五mが行われた。

二十二年度の予算は公共事業の見直しの影響で五千万円と半減した。



進まない工事(中山工区)

午後からは期成同盟会、県担当者との合同会議が開かれ、今後の見通しについて議論したが、来年度からの予算額の予想は立たないとの説明があった。

勝浦中学校改築調査 特別委員会

町長発言

審議会に影響か？

五月二十五日に第四回の特別委員会を開き、審議会の経過報告の説明を受け審議を行った。

問

審議会の意見では、現位置での建て替えが一番望ましいとなっているが、答申が出される前に町長は「仮設校舎を造らない案で検討して欲しい」と言うのはおかしいのではないか。

答

教育委員会事務局から意見を求められたので、仮設校舎除外で検討して欲しいと言った。



木のぬくもりのある
美里中学校



四月二十二日に、勝浦中学校改築と同じ会社が設計した三重県津市の美里中学校の視察を行った。立地環境は違っているが、設計業者の学校建設におけるコンセプトや、校舎の細部まで具体的に研修を受けた。内装には木材を多く使用しており木のぬくもりが感じられ、自然光を多く採り入れた学習環境の充実ぶりが目を引いた。今後は研修内容を検討し、改築に向けて意見具申して行きたい。

議会広報常任委員会

稲美町議会から視察

七月九日に兵庫県稲美町から議会広報編集特別委員ら九名が来町し「議会、だより」の編集などを中心に視察を受けました。

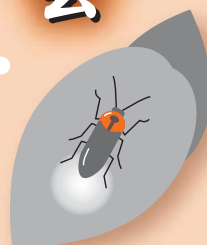
全国議長会発行の「議会広報誌」で「議会、だよりかつうら」が高い評価を受けての訪問と聞いた。今年の一月に記念すべき五十号を発刊したとは言え、初めて視察を受けることに身の引き締まる思いであった。

双方の議会、だよりを紹介しながら、編集の苦労話など予定時間を上回る研修の場となり、研さんを深めることができた。



活発な意見交換が

与川内 ホタル村保存会



平成十四年に与川内ホタル村保存会を結成してから、今年で第八回目の開催となりました。ホタルまつり開催に向けて、小松島市の谷中登希男氏の指導を受け、先進地の愛媛県中山町との交流などで第一回目の開催にこぎつけた。その後、カワニナ

の放流などに地域を挙げて取り組んだ結果、今年の来客は一万三千人まで増え、県下一のホタルまつりに発展しつつあります。教育面では横瀬小学校の児童にホタルの幼虫の放流に参加してもらい、環境保全の大切さを学んでもらっています。今後も勝浦町の名物イベントとして町民に支援していただけるよう保存会一同念願しています。
(保存会会長 押栗義雄)



防災シリーズ

消火放水訓練を実施

山田・西岡自主防災隊

山田・西岡自主防災隊は、平成20年に結成しました。過去の訓練内容は火災を想定した消火放水訓練や簡易消火器による初期消火訓練、地震や水害を想定した避難訓練や炊き出しを実施しました。

また、災害時に冷静な操作ができるようAED講習会を開催しました。

今後は、将来起こると予測される南海・東南海地震への備えとして、少しでも迅速に行動を起こせるように、他区の防災隊と情報交換などを行いながら、防災意識高揚に努めていきたい。

(山田・西岡防災隊長 近藤茂芳)



AED講習会



消火放水訓練

命を守る防災対策

地域生活支援

ネットワークを

要介護者支援対策

調査・研究する（町長）

国清 一治 議員



問 本町の防災対策は、実効性や行動面からまだまだ遅れていると言わざるを得ない。特に社会的弱者や要介護者の対応策ができておらず、大災害時に命を守ることはできない。各地域で「地域生活支援ネットワーク」づくりに取り組む必要があると思うが、その認識と今後の対応は。

答 福祉課長

支援ネットワーク

クは要介護者を隣近所や地域で助け合い支え合うシステムづくりで、今後、地域ケア会議や防災担当と協議し情報を共有したい。

答 町長

自主防災組織やコミュニケーション

ティーなど地域のネットワークの確立は、要介護者支援対策の前提である。町としてどのような形が必要か十分調査・研究する。



中角集落が開発した「みかんストレート」ジュース

「道の駅」ネーミングと特産品の開発を

町民から

アイデア募る（町長）

問

「道の駅」が来年三月にオープン予定だが、ネーミングをどう考えているのか。

また、勝浦しかない特産品、特産物について町民からアイデアを募る「町民提

答 産業建設課長

案型・特産品開発事業」などに取り組んではどうか。「道の駅」のネーミングについては、愛称を町広報やホームページで募集したい。

答 町長

特産品の開発

勝浦みかんなどを使った勝浦らしいものを、広く町民からアイデアを募るなど十分検討したい。

「集中改革プラン」検証、調整は

「行政改革基本計画を

（町長）

問

平成十七年から県下に先駆けて取り組んできた行財政改革の「集中改革プラン」を二十一年度に検証、調整するとなっていたが、いまだ手つかずで改革がストップしている。今後の対応は。

答 総務税務課長

現在、「集中改革プラン」の検証、調整を進めており、その結果を基に新たな計画を立てたい。

答 町長

行財政改革

は恒久的な課題であり、新たに「行政改革基本計画」を立てて、継続して取り組んで行きたい。

中学校改築計画

町長の仮設校舎不要 発言は不適切

審議会の答申を踏まえ

基本方針を立てる（町長）

大西一司議員



問

校舎建設位置は設計コンセプトの根幹だ。町長発言の仮設校舎不要が前提では審議会を開く意味がない。審議会は白紙の状態では仮校舎の経費等を含めたメリット・デメリットの協議を通じ決定すべきで、理事者は答申を尊重しながら十分検討し、最終決定するのが順序ではないのか。

答 教育長

敷地南側に建設して

も内容的に北側とそんな色なく、仮設校舎では膨大な備品等の移転に手間と経費がかかり、受験期を迎えた三年生には不便を来す。

また、仮設校舎建設には多額の費用があるなどの観点から個人的には反対だ。審議会ではオプザーバーとして私見を提言させてもらった。

答 町長

教育委員会事務局から意見を求められ仮校舎不要の考えを言ったが、現在協議中の改築計画審議会の答申内容を踏まえ、十分検討し基本方針を立てたい。

「道の駅」周辺整備

生名神ノ木線の改良工事を急げ

地元の体制や

条件を整えば検討

（産業建設課長）

問

「道の駅」周辺整備の中で、東側の生名谷川に抜ける排水整備及び防火水槽設置の取り組み状況は。

また、サンクス横の信号

答 産業建設課長

から町道神ノ木線は徳バスの新たな路線になっており、その上に「道の駅」建設で交通量の増加が予想される。早期の改良を。

排水整備は今議会に補正予算で上程しており、防火水槽とも本年度中に整備する。

町道神ノ木線については地元体制や条件が整った後に検討して行きたい。

へんろ道の国史跡指定 保存と新たな整備を

関係団体と連携を

図り進めていく

（町長）

問

鶴林寺へんろ道が国史跡指定される。今後、世界遺産登録に向け、町を挙げて保存に力を入れ、へんろ文化の継承に努めるとともに現在の遍路道の新たな整備を。

答 町長

県や関係団体とも連携を

取りながら、適正な保護・保存に努め、町の観光資源としても生かして行きたい。新たな整備についても国・県と協議を進めたい。

■その他の質問

- 地籍調査等の取り組みについて
- 農家戸別補償制度の申請内容について



交通量の増加が予想される神ノ木線

「道の駅」情報館

ハードより

ソフトの充実を

やる気のある若者を採用（副町長）

節 公一 議員



にあたるマネージメント能力を持った責任者の配置が必要でないか。

答 副町長 「地域おこし協力隊」

の制度を活用し、やる気のある若者を都市圏から採用する。

責任者の配置は、現時点では役場職員の応援体制を考えているが、今後、検討して行きたい。

問 「道の駅」情報館の管理、運営は町外から臨時職員二名を採用し町営でスタートするが、この事業を成功させるには建物などのハード面よりも、有能な人材による運営などソフト面の充実が重要である。

集客を図るためのイベント企画や、各団体との交渉



これ以上の遅れは許されない

横瀬小学校耐震化



遅れている横瀬小学校耐震化

問

耐震設計図の作成が太陽光発電の設置の可否で遅れているが、子供の安全が第一である。「地震防災対策特別措置法」の適用からもこれ以上の遅れは許されない。今年度中の着工は大丈夫か。

答 教育長

八月末に耐震設計に対する評定委員会の結果が出る。その後、九月に実施設計作成に取りかかり、厳しいスケジュールではあるが来年三月に着工予定である。

すり替わった看板

緊急雇用対策事業

問

二十一年度に経済対策として補正予算で多くの事業が行われたが、検証はできているのか。

特に空き家調査事業について、空き家数を確認しただけで入居可能数は把握できていない。一番必要なのは入居可能な物件の調査である。地元区長の協力を得て、必要な情報をデータベース化するべきでは。

また、観光案内の看板を阿南方面入口に設置する予定になっていたが、どうなったのか。

答 副町長

空き家調査には地元協力が不可欠であり、調査の成果を活用できるようデータベース化する必要がある。

阿南方面からの観光案内板については用地の問題で設置できなかったため、替わりに立川地区の天然記念物の説明板を改修した。

みかんの温暖化対策

県果樹研究所に協議（町長）

山野忠男議員



も見えていない。

また、遊休地や廃園はどれくらいあるのか。

答 産業建設課長

新品種の改良については、技術者会の会議や果樹研究所へ問い合わせで調査したが、

問 二十一年産みかんは表年のうえ高温で、カボチャみかんや浮皮など品質不良で安値の原因となった。
昨年の六月定例会の一般質問で、温暖化に対応する新品種への取り組みについて「町でモデル園の設置など具体的に検討したい」と答弁があったが、現在、何



みかん栽培期待の県果樹研究所

答 町長

温暖化対策については、今後、県果樹研究所に協議するなど取り組みたい。

温暖化対応を目的とした品種育成は行われていない。遊休地や廃園は二十年度で十三・八ha、その内みかん園は十二・六五haである。

少子高齢化対策は

人口減抑制策を促進

（総務課長）

問

町の総合計画の資料で人口の推移を見

答 総務課長

人口減少の抑制は産業や経済の縮小、地域社会の衰退や崩壊を食い止める視点からも大変重要な課題であり、住環境、交通環境、子育てや教育環境の充実を図り、転出の抑制、転入の促進などに努めたい。

答 福祉課長

「こども手当」は

六月十日に保護者三百六十一人に支給した。

少子化対策としては、乳幼児医療の無料化の拡大やファミリーサポートセンターの設置、妊産婦健診についても十四回に拡充している。

また、保育所においても第三子以降の四歳、五歳児

道の駅に集客に

温泉の整備は

現時点では難しい

（副町長）

問

「道の駅」に仮眠施設やリラククスできる畳の部屋などがあれば、長距離運転手や観光客など多くの集客が見込めると思うが。

また、勝寿会から温泉利用の話があったが「道の駅」集客の目玉として整備しては。

答 産業建設課長

仮眠施設などについては、管理運営の経費、防犯や安全面から難しい。

答 副町長

温泉の利用整備については、スペースやコスト面、管理上の問題から、現時点で整備計画に含めることは難しい。

ケーブルテレビ加入金

加入しやすい環境に

契約変更時に検討する（町長）

森本 守議員



また、入院などで不在の場合、一定期間休止することは可能か。

答 総務税務課長

上勝町では新規加入者がサービス提供者に工事代金を支払い、十三万六千五百円を超える金額について、申請により町が補助をしている。

入院などによる休止については三カ月をめぐりに対象になると聞いている。

答 町長 システム変

更による新しい運用や抜本的な契約変更があれば、その時点で補助制度を含めた新しい負担割合について検討する。

問 ケーブルテレビ加入金について町長は三月定例会で、「制度をよく検討して加入しやすい環境になるよう努めたい」と答弁したが、どのような検討をしたのか。

同じ事業で整備した上勝町では、高すぎる新規加入金に対して補助をしていると聞くが。



増えてきたリフォーム

住宅リフォームに補助を

問

車や家電製品は、国の補助制度の恩恵を受け売り上げを伸ばしている。住宅のリフォーム費用を助成すれば、町内の職人に対してかなりの経済効果が期待できる。ぜひ、補助制度の検討をすべきではないか。

答 町長 新たなリフォーム補助に

ついては要望も少なく実施していない。今後も、県などの制度を



広報等に掲載、周知することで耐震リフォーム事業などを推進する。

就学援助費について

問

小泉内閣の「三位一体改革」により、準要保護世帯への就学援助費は一般財源化されている。今年度の予算でクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の三項目が追加されたが、教育のための交付金は教育

に使うべきでは。

答 町長

県や他の市町村の動向を十分見極めながら情報収集に努め、適切な対応をしたい。

住宅耐震診断の新聞報道について

問

五月二十五日の徳島新聞に、県内市町村で住宅耐震診断が前年実績を下回ったのは勝浦町だけで、取り組み姿勢に温度差があると書かれていた。

新聞社に対し、人口や住宅数も付記すべきと抗議すべきでは。

答 町長

住宅耐震診断数は上勝町三件、佐那河内村六件、神山町十件、つるぎ町七件、小松島市十七件に対し勝浦町は二十二件と多いが、単なる伸び率だけで報道されている。

新聞報道は適切な内容での取り扱いを望みたい。

子宮頸がんワクチン接種

町民の声にこたえて 公費助成を

前向きに検討したい（町長）

井出美智子議員



問

子宮頸がんはワクチン接種で予防できる唯一のがんで、近隣市町村でも独自助成に向けた動きがある。ワクチン接種への助成を求める町民の声が大きく、町長の姿勢が問われている。国や県の助成を待つのではなく、早急に勝浦町でも実施するべきだ。

答 町長

町民の声は届いている。助成については国や県の動向を見ながら、前向きに検討したい。

今山畑総農道 早急に町道編入を

九月議会に提案する
（産業建設課長）

問

今山畑総農道は、借入金を完済した時点で町に移管する約束であったが、財政難を理由に保留されている。路面が割れたり、山側の土砂が崩れて危険な箇所がある。中山間



町道編入が待たれる今山畑総農道

答 産業建設課長

地域等直接支払制度の取り組みで草刈りや維持に努めてきたが限界にきている。早急に町道編入すべきである。昨年度に測量は完了している。九月議会でも町道認定を提案する予定である。危険な箇所については、町道編入前であっても検討し対応する。

香酸かんきつへの 石灰ポルドー液の 農薬登録を

県や関係団体に
働きかけて行く（町長）

問

すだち・ゆずなどの香酸かんきつは価格低迷により経費削減が求められている。石灰ポルドー液は安価で耐雨性、残効期間に優れている。しかも植物ホルモンの一種であるエチレンガス分泌を促して、病気に対する抵抗性を強める働きがあることが発見され、再評価されるようになった。

答 町長

しかし、みかんに使えないすだちなどには使えない。農薬登録がされるよう国や県に働きかけて欲しい。

問

なぜ、人間ドックは中止になったのか。小松島市などでは実施されている。生活習慣病の早期発見、早期治療や健康管理を促進するためにも、「勝浦町でもぜひ再開して欲しい」という要望がある。町民のため様々な取り組みを行うべきでないか。

答 総務税務課長

特定検診を受診することによって、人間ドックが対象とする疾病についても一定範囲の検査ができると考えている。現在のところ人間ドックの実施は考えていない。

県道阿南勝浦線

沼江バイパス 進ちよく状況は

二十二年度で七十%の
執行予定（産業建設課長）

森 健 議員



問 沼江バイパスの工事状況と、今後の取り組み予定は。

答 産業建設課長

現在の工事進ちよく率は約四十%で、工事費三億三千万円の内二十一年度に一億五千万円が執行されている。今年度は八千万円予定されており、切り取り区間

を掘った土砂で盛り土工事を予定している。執行率は約七十%で完成は二十三年度の予定だ。

町境付近の県道拡幅の取り組み状況は

問 沼江バイパスと同時に解決しなければ

不便を来す。現在の取り組み状況は。

答 産業建設課長

予定地の境界立会はできず、土地の一部に公図と現況に差異があり、処理に時間を要している。地権者の理解を得ているので、今後はその処理と用地交渉に取り組んで行く。

みかん産業の振興策と技術指導対策は

問 農家の高齢化、後継者不足などのマイ

ナス要因下であっても、みかんは町の基幹産業だ。これからの振興策と売れるみかん作りの技術指導対策は。

答 産業建設課長

多彩な施策を実施してきたが、効果が上がっていない。意欲を持ち取り組むにはいかに高値で売れるかが最大の課題だ。二十一年度産みかんの大阪市場の最高値は、勝浦の貯蔵みかんと聞いている。行政として高

く売れるみかんの選定やいつ、どこに売れば高く売れるか、そのために必要な支援は何かなどの調査や情報提供を行いたい。

技術指導については、毎月技術者会議を開催、県支援センター・JAや町の営農指導員等により時節に応じた農作業や、その他の課題に対応できるような情報を提供している。

特色ある学校づくり

問 勝浦町としての特徴のある学校の推進とはどんな内容か。

答 教育長 郷土勝浦に誇りを持ち、大きく羽ばたく人間力を持った子供の育成をめざしている。具体的には地域支援本部事業としての見守り隊、人形浄瑠璃の継承、小・中・小学校と英語指導助手（ALT）との連携による英語教育、「ふれあいの里さかもと」を利用した郷土学習を取り上げている。

勝浦町としての特徴のある学校の推進とはどんな内容か。



工事が進む沼江バイパス（ナカテツ入口）

どう生かす

一括交付金制度

特色あるまちづくりに（町長）

西浜勝己議員



問

政権交代で「一括交付金制度」が来年度から段階的に導入される。これからは地方の知恵くらべとなるが、町の考えは。

答 町長

自主財源に乏しい本町では、「特色あるまちづくり」の取り組みにこの制度を利用したい。反面、自治体自身の政策立案能力が試され

生物多様性 勝浦町の認識は 調査・研究を行う

問

五月十六日、文化の森において「生物多様性シンポジウムinとくしま」が開催された。生物多様性の認識と自治体の取り組みは。

答 住民課長補佐

開発や乱獲、地球温暖化による環境悪化で生物多様性の危機が叫ばれている。生物多様性基本法にあるように自治体の努力義務が明記されている。

答 町長

徳島県では、生態系や生物多様性の役割や重要性は広く知られていない。今後、勝浦町においても調査、研究を行い自然環境を子や孫に残さなければならぬと考えている。

いやしの道 事業として

継続的に必要（町長）

問

四国霊場二十番札所「鶴林寺」と二十一番札所「太龍寺」の四五キロのへんろ道が、初めて国史跡に指定されることになった。大変喜ばしい限りであるが、周辺の対象外参道を多くのボランティアにより整備している。今後

もいやしの道づくり事業として継続的に助成をしては。

答 教育長

棚野側は国史跡に関連した「いやしの道、巡礼道」として、適正に整備されるのが大事である。地域の文化遺産や歴史学習として取り組みないか検討したい。

答 町長

棚野側の参道については、奥の院に通じる貴重な「古道」として、今後とも継続的に町の遺産として保護・管理して行きたい。



助成が必要な棚野側へんろ道





K-Friends

ケーフレnds

会員数405人
(7月24日現在)

スマイル健康教室

全身の引き締め&ストレス発散

現在も
参加者
募集中!



人間の体は、「動かない」と「動かさなくなり」、「使わない」と「使えなくなり」ます。手軽に始められるスローな運動から、メタボ対策、シェイプアップ、体力向上、脳トレ、筋力アップなどテーマに沿って、無理をせずに自分にあった運動を！



健康運動指導士

健康運動指導士

上田啓人先生

岡本由之先生

運動の苦手な人も、今まで“楽しく体を動かす”機会が少なかった人も、スロートレーニングを中心に一緒に動いて“気持ちよさ”を体感してみませんか！



インタビュー

この教室に参加したきっかけ、楽しいことなど！

- 和気あいあいの雰囲気です身につく嬉しさをかみしめています。 〈Kさん〉
- 夏の暑さや冬の寒さに負けず、15歳若い体力づくりをめざします。 〈Oさん〉
- 気がつく时下腹がポッコリ、あれあれ大変！この夏はやせた〜い♥楽しいよ〜!! 〈Yさん〉
- 少し身体を動かした方がよいと思って参加しました。週一回、良い汗をかいています。 〈Mさん〉
- 体を動かすのが好きなので、スマイル健康教室に毎回楽しんで来ています。 〈Sさん〉

練習

火曜日 午後1時30分～3時
(第4火曜日は休み)

場所:勝浦町町民体育館

問い合わせ・申し込み先

K-Friends事務所(町民体育館、改善センター)
電話 0885-42-3671
FAX 0885-42-3671
E-mail kfriends@27.fan-site.net
http://kfriends.fan-site.net/index.html



編集後記



七月十七日やっと梅雨が明けた。先月の十三日に平年より九日ほど遅く梅雨入りし、期間は三十五日間と短かったが例年になく雨量が多く、各地域でゲリラ的豪雨が発生し甚大な被害をもたらした。幸い本町では大きな被害もなく夏本番を迎えた。先の参議院議員選挙では予想外の結果！

今後の政局も衆・参のねじれ現象再現で暗雲たちこめ注意報・警報発令など大荒れも予想され、快晴となるのはまだまだ先のような。

今議会は「道の駅」関連の質問が多かった。その関心の高さと施設整備や管理運営などを心配する声も強く「未知の駅」にならないように...

(一治)

